

ことばの実験室 ～受け取ろう、伝えよう～

地域の大人たちが気軽に文化芸術を体験できるワークショップシリーズ「しんゆりART LABO」。初回のテーマは「ことば」。身体の状態によって、そこから発することばや声はどう変わるのでしょうか。詩などを題材に、ことばを受け取り、伝えながら、自分自身の身体と声の変化を体感していきます。

日程

① 10/20 (火)
10:00 ~ 15:00

② 11/5 (木)
10:00 ~ 15:00

③ 11/6 (金)
10:00 ~ 15:00

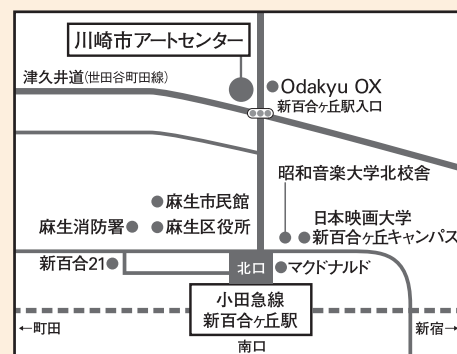
※1日のみのプログラムです。ご希望の回をお選びください。

対象 大人

参加費 3,000 円

定員 各回 10 名 ※応募者多数の場合は抽選となります。

会場 川崎市アートセンター小劇場
小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分
〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1
TEL: 044-955-0107 WEB: <https://kawasaki-ac.jp>
※駐車場はございません。



講師 五戸 真理枝 (文学座)



1980年生。兵庫県三田市出身。早稲田大学第一文学部演劇映像専修卒業。
自ら劇団を旗揚げての小劇場活動を経て、2005年文学座附属演劇研究所に入所。
2010年座員に昇格。劇団内外で演出部、演出助手として多数の公演に参加。
2016年、久保田万太郎作『舵』(文学座アトリエ)で初演出。演出の他、戯曲や童話の執筆も手掛ける。
2023年、『コーヒーと恋愛』(文学座アトリエ)、『貴婦人の来訪』(新国立劇場)、『毛皮のヴィーナス』(世田谷パブリックシアター)で読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞。
川崎市アートセンターでは、しんゆりシアター『三人姉妹』『桜の園』『人間ざらい』『女学者たち』『狼と狐との物語/人魚の海』で演出や脚色を担当。

応募方法

右記、応募フォームから必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。
応募締切：9月30日(水)



主催・お問合せ：川崎市アートセンター TEL: 044-955-0107

後援：NPO 法人しんゆり・芸術のまちづくり

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

川崎市アートセンター
kawasaki ART center



文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan